

株式会社 西山工務店

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年6月 ~ 2024年5月)



豊岡市環境経済事業 認定証

認定番号 第 90 号

株式会社 西山工務店 様

認定事業

自然砕石のみを使用する環境に配慮した
地盤改良工事

認定日

2023年8月7日

豊岡市長 関 貫 久 仁



発行日:2024年7月6日

目 次

項 目	ページ
会社概要	3
実施体制図及び役割・責任・権限表	4
環境経営方針	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営計画及びその実績	6
環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容	7～10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
環境活動の紹介	12～14

会 社 概 要

■事業所名 株式会社 西山工務店

■代表者名 代表取締役 西山 嘉一

■本社・支店等所在地

本 社：兵庫県豊岡市泉町11番26号

香住本店：兵庫県美方郡香美町香住区森499番地

■環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 田中 雄二 TEL:0796-21-9103

環境管理担当者 同上 TEL:同上

■創業 昭和42年2月1日(1967年)

■設立 昭和58年6月23日(1983年)

■資本金 2,000万円

■売上高 165,614 万円 (令和6年5月決算)

■建設業許可 兵庫県知事許可 特-2 第 700390 号

〔 土木 建築 とび・土工 石 管 鋼構造物 舗装
しゅんせつ 塗装 防水 水道施設 解体 〕

■ISO9001 平成13年3月31日取得(2001年)

【認証・登録の対象組織・活動】

■対象事業所 本社、香住本店、守柄倉庫、旧社屋倉庫、法花寺資機材センター(全組織全活動が対象)

■事業規模 土木工事業、建築工事業

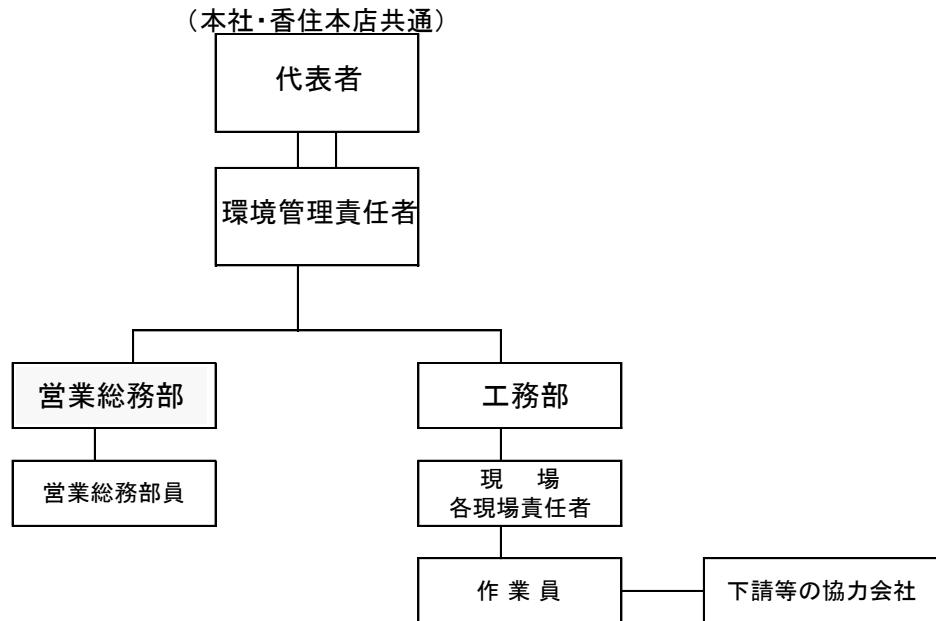
	本社	香住本店	守柄倉庫	旧社屋倉庫	法花寺資機材センター	合計
従業員(名)	3	32	無人	無人	無人	35
延べ床面積(m ²)	571.340	670.431	112.753	44.338	247.600	1,646.462

■建設現場等の概要

元請工事 159,470 万円 (15 件)

下請工事 6,142 万円 (20 件)

実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営方針

株式会社西山工務店は、地域社会に貢献し、地域との共存を図り、地域とともに永遠の発展を目指し、土木・建築工事業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に積極的に取り組みます。

当社は、以下のとおり基本環境経営方針を定める。

1. 使用する建設機械・車両の使用燃料や排出される二酸化炭素の削減に努めます。
2. 電気使用量の削減による二酸化炭素の排出量の削減に努めます。
3. 水使用の節水に努めます。
4. 各現場で、自然環境に配慮した建設機械や工法を選定し、自然環境に考慮した施工を行います。
5. 混合廃棄物の発生抑制、削減を促進します。
6. 事務用品や工事材料等の適正量の購入とグリーン購入に努めます。
7. 地域の社会貢献活動に積極的に参加します。

この環境経営方針を全社員に周知させ、社会的責任及び法令・規制要求事項を満たすように遵守します。又、環境活動を定期的に見直しを図り、継続的改善に努めます。

制定日：2016年6月1日

株式会社 西山工務店
代表取締役 西山 嘉一

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年 (R3年6月～R4年5月)	2022年 (R4年6月～R5年5月)	2023年 (R5年6月～R6年5月)
売上高	万円	251,879	189,980	165,614
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	476,876	387,952	333,395
廃棄物排出量	t	326	1,742	28
一般廃棄物排出量	t	2	2	2
産業廃棄物排出量	t	323	1,741	26
水使用量	m ³	466	591	464

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.362 kg-CO₂/kWh ※ 排出係数(関西電力 2020年度実績)

※対象化学物質の使用はありません

□環境経営計画及びその実績 ※ 営業総務部は使用量、工務部は売上高に対する原単位方式を採用

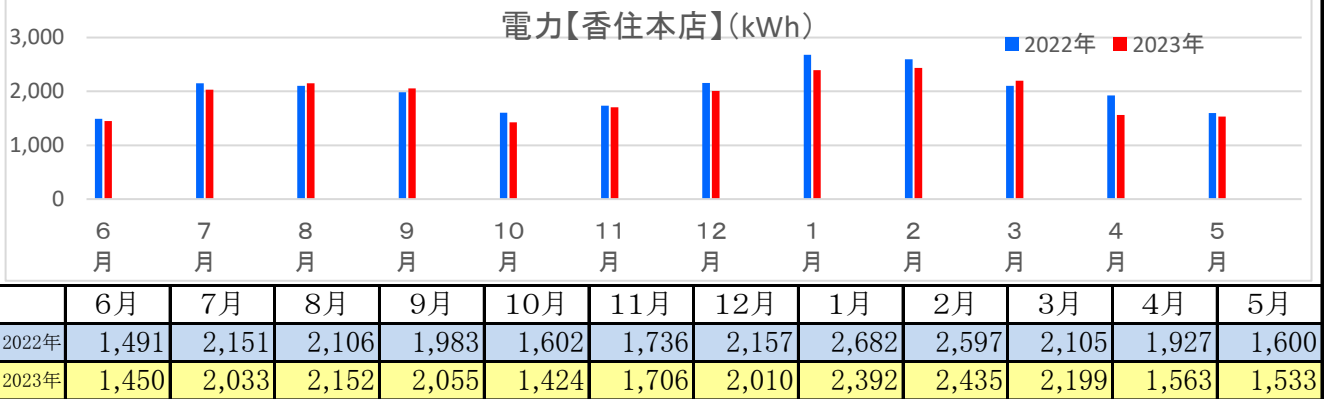
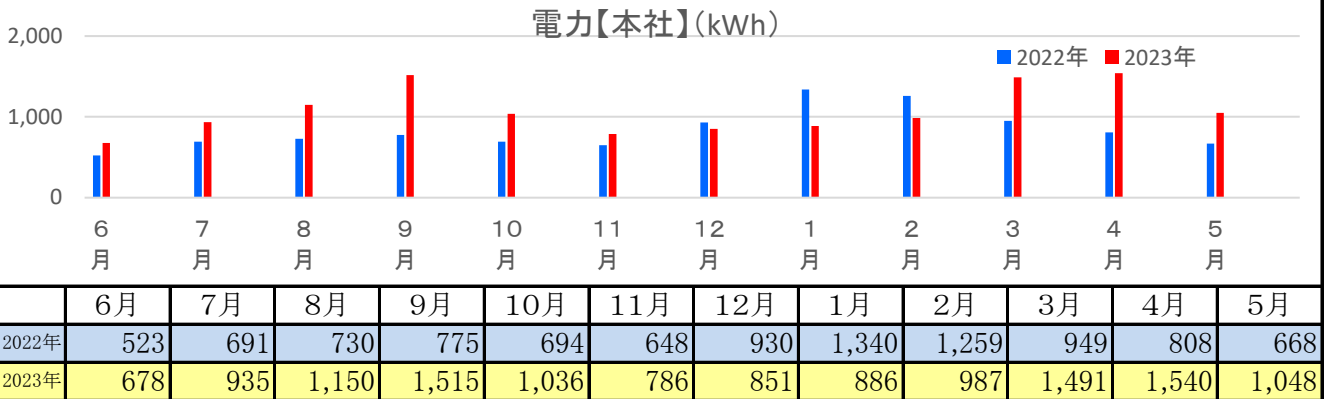
項目	年度	基準値 (基準度)	2023年		2024年	2025年	
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	
電力による二酸化炭素削減 (営業総務部)	kg-CO ₂	12,363	12,116	12,980	12,116	12,116	
	基準年比	2022年	98%	105.0%	98%	98%	
電力による二酸化炭素削減 (工務部)	kg-CO ₂	2,387	2,339	4,310	2,339	2,339	
	kg-CO ₂ /百万円	1.256	1.231	2.603	1.231	1.231	
	基準年比	2022年	98%	207.1%	98%	98%	
社用車燃料による燃費向上 (営業総務部)	kg-CO ₂	3,612	—	3,432	—	—	
	燃費【km/l】	24.85	25.10	26.45	25.35	25.60	
	基準年比	2022年	1%	106.4%	2%向上	3%向上	
車両及び重機による燃費向上 (工務部)	ガソリン	kg-CO ₂	35,545	—	45,934	—	—
		燃費【km/l】	16.01	16.17	16.10	16.33	16.49
		基準年比	2022年	1%	0.6%	2%	3%
	軽油(車両)	燃費【km/l】	3.314	3.348	3.148	3.381	3.414
		基準年比	2022年	1%	-5.0%	2%	3%
	軽油(重機)	燃費【l/h】	7.907	7.986	6.740	7.669	7.590
		基準年比	2022年	98%	85.2%	97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	387,952	—	333,395	—	—	
	kg-CO ₂ /百万円	204.207	200.123	201.308	—	—	
混合廃棄物の削減	t	33.28	32.61	26.35	32.61	32.61	
	t/百万円	0.0175	0.0172	0.0159	0.0172	0.0172	
	基準年比	2022年	98%	90.8%	98%	98%	
水道水の削減(営業総務部)	m ³	375	368	155	368	0	
	基準年比	2022年	98%	41%	98%	0%	
水道水の削減(工務部)	m ³	27	26	146	26	26	
	m ³ /百万円	0.014	0.014	0.088	0.014	0.014	
	基準年比	2022年	98%	620.3%	98%	98%	
グリーン購入の推進	%	—	0%	0.0%	0%	0%	
	円	—	金額(全体)	0	—	—	
3		金額(対象)	0	—	—		
施工における環境配慮(社会貢献)	次項参照						

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.340 kg-CO₂/kWh ※ 排出係数(関西電力 R1年度実績)

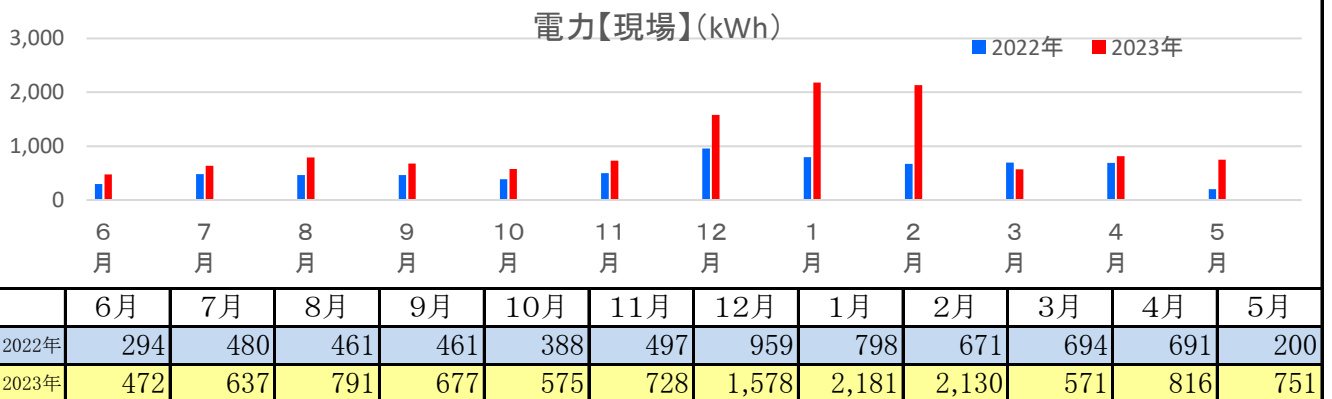
□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:%表示又は、○達成若しくは×未達成 活動:○できた △あまりできなかった ×できなかった

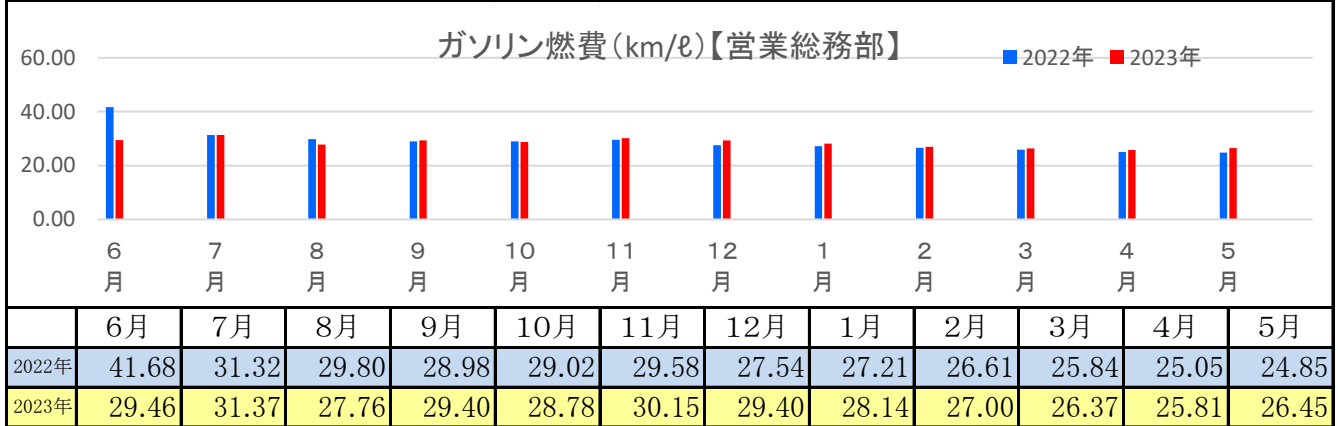
取り組み計画		達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減(営業総務部)			取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		105%	6月より豊岡支店を本社とし、本格的に活動を開始したこともあり、本社の使用量が増加した。香住本店の使用量は逆に押さえられているが、それ以上に本社の使用量が増加していたため、未達成となった。41期を基準として42期の削減に期待したい。
原単位目標			
・空調温度の適正化		○	
・不要照明の消灯		○	
・退勤時にパソコン・プリンター等の主電源を切る		○	



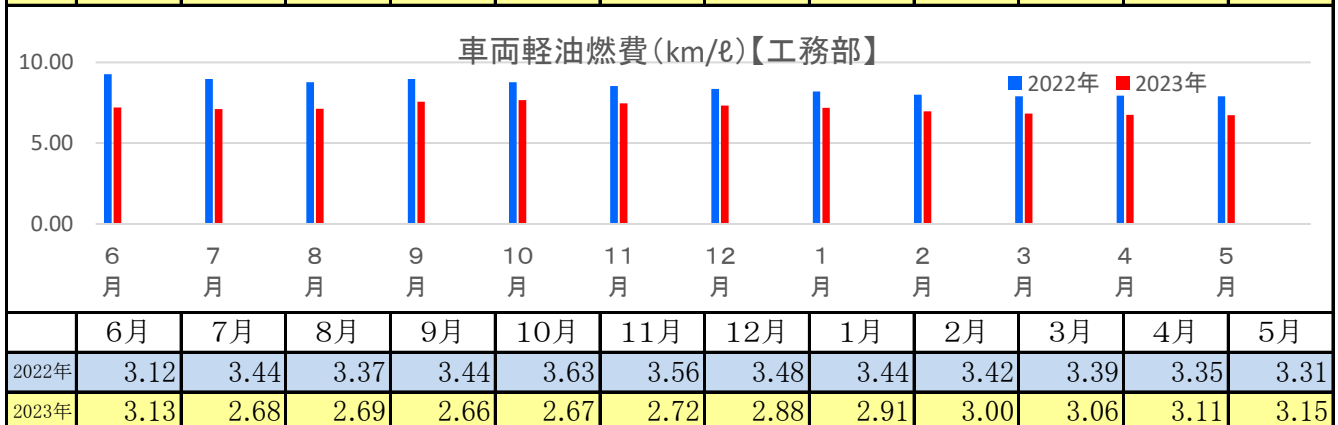
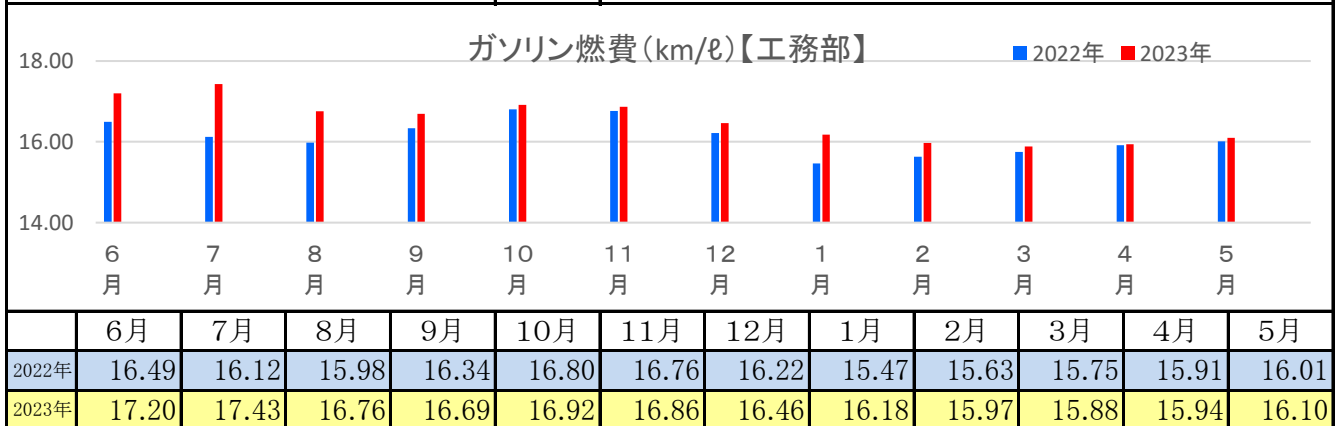
電力による二酸化炭素削減(工務部)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		180.6%	使用量・原単位方式別で見ても、現場事務所数の増加に伴い、未達成となった。 現場事務所数に比例して増加していくため、削減は難しいが、作業環境を確保したまま削減に繋げていきたい。
原単位目標		207.1%	
・空調温度の適正化		○	
・不要照明の消灯		○	
・退勤時にパソコン・プリンター等の主電源を切る		○	

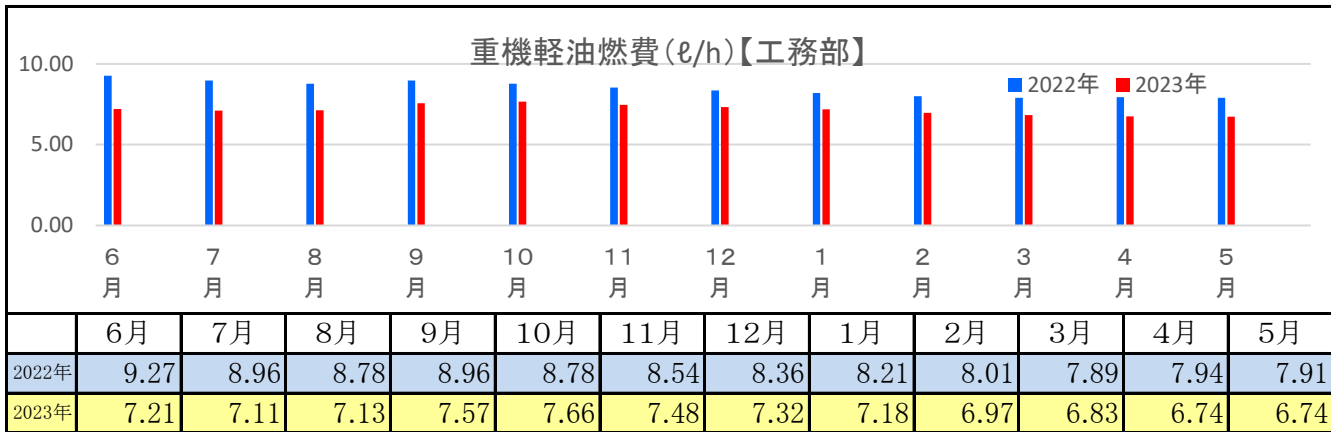


社用車燃料による燃費向上(営業総務部)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		105.4%	月別で見ると燃費が悪くなる月があったが、累計で達成することができた。目標を大きく上回る結果が出て良かった。40期をベースに41期も達成できるように取り組んでいく。
原単位目標			
・アイドリングストップの実施		○	
・エコドライブ等の運転方法の配慮		○	
・効率的なルートで営業活動		○	
・社用車の始業点検の実施		○	

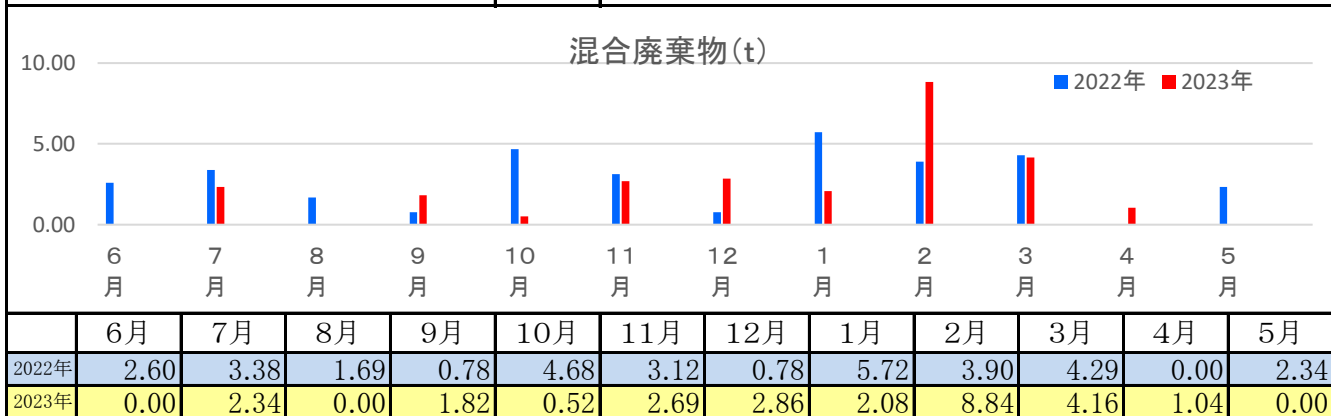


車両及び重機による燃費向上(工務部)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標【ガソリン燃費】		100.6%	【ガソリン】 基準期比較100.6%と向上はしたものの目標達成には至らず。 【軽油(車両)燃費】 基準期比較95.0%と悪くなり、目標未達成となった。 【軽油(重機)燃費】 基準期比較85.2%と大きく向上した。 【共通】 41期より燃費比較にしたので、更なる燃費向上活動に期待する。
数値目標【軽油(車両)燃費】		95.0%	
数値目標【軽油(重機)燃費】		85.2%	
・アイドリングストップの実施		○	
・特定自主検査や始業点検の実施(重機・車両)		○	
・各現場に合った重機の選定		○	
・ICT機器によりICT施工の実施		○	

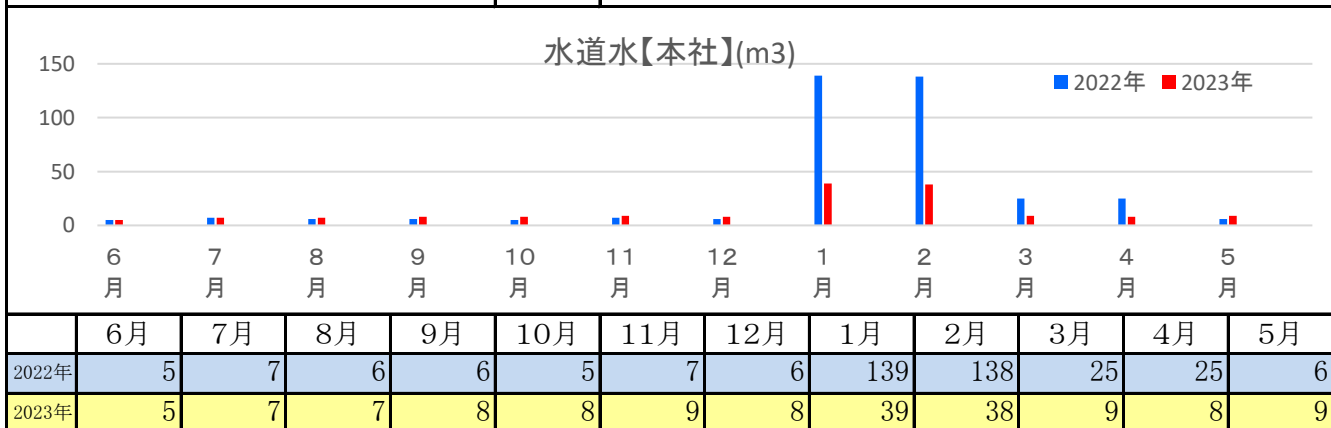


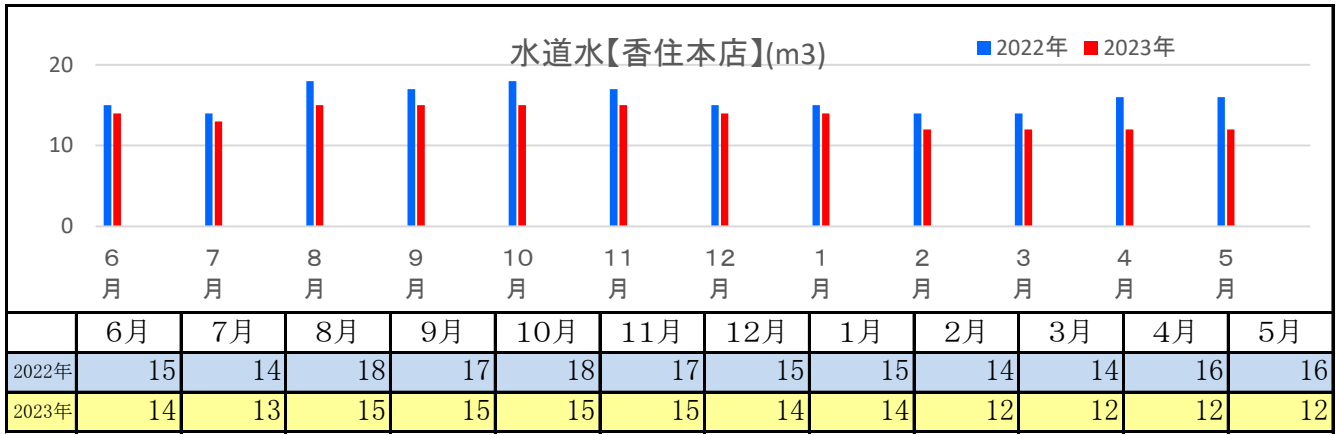


混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	79.2%	<p>基準期比較90.8%と大幅な削減に繋がった。 今後も一般ゴミをバツカンに混合させないように会社への持ち帰り協力を促していく。</p>
原単位目標	90.8%	
・一般ゴミの持ち帰り	○	

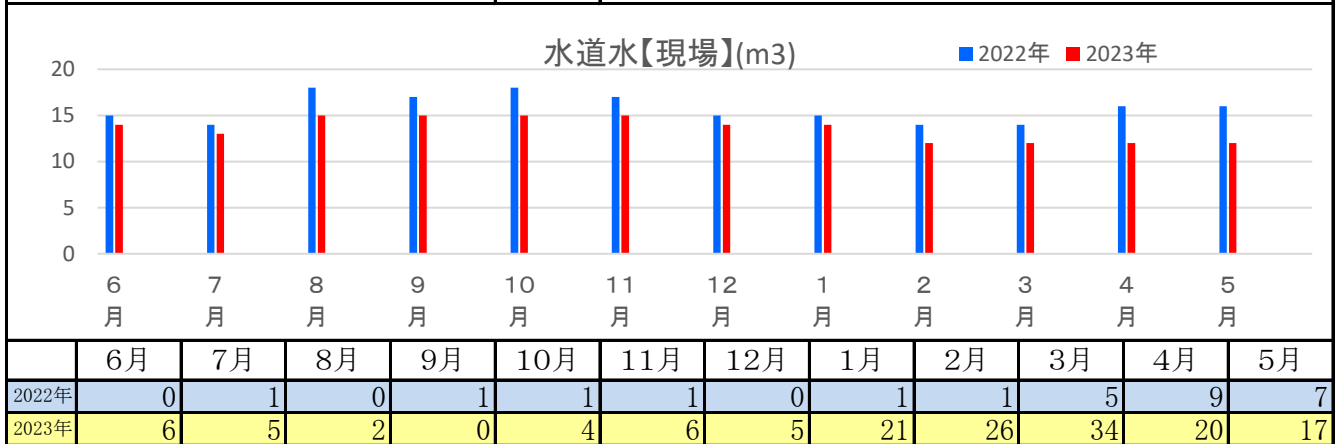


水道水の削減(営業総務部)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	41.3%	<p>基準期比較41.3%と大幅な削減に成功している。 本社での積雪が基準期に比べ少なかったことが影響していると思われる。</p>
原単位目標	△	
・節水への呼びかけ等(事務所内)	○	





水道水の削減(工務部)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	1.4%	電気使用量と同様に使用量が増加している。 現場事務所数に応じて比例していくため、仕方がないが、 作業環境を維持しながら削減活動を継続していく。
原単位目標	620.3%	
・節水への呼びかけ等(各現場)	○	



グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	毎月対象商品を選択して購入できた。
原単位目標	△	
・購入した事務用品の内グリーン購入対象商品の確認	○	

施工における環境配慮(社会貢献)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	100%	例年通り、社会貢献活動に協力できた。
原単位目標	△	
・社会貢献に参加	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

No	適用される法規制	規制内容	評価
1	廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適切な契約、マニフェストの交付・保管・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
2	建設リサイクル法	再資源化等の実施義務 発注者への再資源化等完了報告と記録の保存	遵守
3	騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵守
4	振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵守
5	フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録の保存 業務用エアコン冷蔵・冷凍庫等の有無の事前確認 発注者への書面説明、書面の3年間保存	遵守
6	消防法	危険物の保管	遵守
7	河川法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵守
8	オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車・重機の使用	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等は過去3年間これまでありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

- | | | |
|-----------|--|-------------------------------|
| 環境経営方針 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |
| 実施体制 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり |

41期も含めた以前5期が経営的にも良かったが、今後厳しくなってくる
ことが予想される。

41期より豊岡に本社を移転し、各使用量は増加傾向にある。

移転後の年間使用量のデータを基準として、各使用量の削減・燃費向上等
の環境経営活動を工務部・営業総務部が一丸となり継続していくこと。

代表取締役 西山 嘉一

□環境活動の紹介



ICT建設機械集結



監督員車両

営業車両

ハイブリッド社用車



ハイブリッド重機

ハイブリッドバックホウ
【HB335-3】

ハイブリッドバックホウ
【HB205-3】



2024

健康経営優良法人
Health and productivity

認定証

(中小規模法人部門)

法人名 **株式会社西山工務店**

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人2024 (中小規模法人部門)」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

2024年3月11日

日本健康会議



健康を興う、徳いをひとつに。

日本健康会議
NIPPON KENKO KAIGI

24117758

環境にやさしい 砕石の地盤改良

エコジオ工法

建築技術性能証明(GBRC第09-31号) / 国土交通省NETIS(CB-110013-A)

エコジオ工法が選ばれる
5つのポイント

経済設計

従来工法と比べ、設計長が短縮されます。

記録管理

エコジオクラウドシステムで、全数管理。

近隣対策

低騒音・低振動。こびりつく粉塵はゼロ。

廃棄物0^{ゼロ}

土質によっては、残土も出しません。

崩壊防止

EGケーシング(鉄の筒)で穴の崩壊を防止。

